## B 本水彩畫會廣告

野紀太郎、 每週日曜日終日、 下通り、 ■本會研究所は東京市小石川區小日向水道端町二丁日十六番地 電車江戸川線水道町停留場より二丁)にあり、 磯部忠一諸氏なり 授業すべし、 講師は河合新蔵 岡精 每日午前、 永地秀太、 (服部 夜、 眞 坂

隣濱支部は横濱市英町二ノ十四高畠方を事務所とし、 伊 勢山 太神宮前

阪本幼稚園に於て毎月一回水野以文氏出張授業すべし

講師出張指導すべし 長野支部は長野市師範學校内にあり、 毎月一回研究會を開き、 年數回

の出張あるべし 一飯山支部は長野飯山 町森本香谷方にて毎月研究會を開き、 年數回 一講師

京都に於て毎月研究會を開く 日本水彩畵會には地方講習生の設あり、 關西支部は京都市上京區新 北小路町 同志社前藤田紫舟方を事務所とし

をなす(當分休止) 丸山晩霞氏主として通信授業

一研究所規定及會友規定御入用の方は往復ハ 日本水彩畵會々友は作品の批評を受くるのほか幾多の 水彩畵研究所員主として其事にあたる ガキにて中出でらるべ 便利と利益とあ

複

ED

刷

FI

京

市 小石川

報

員

捌

所

東

康

京

市

田

區

表

保

ED

刷

但返信用の方へ宛名を記すべからず

以 L

## 本 誌 規 定

定發行日

の十一毎 本一册郵券にて金二拾錢但號數一册金七十錢、六册金一圓三十錢

會 友 して優遇すべし本語を本會より毎號直接に講讀するものは本會の會友と

金

注 送 向水道町郵便局○郵券代用は一册二十七錢の割東京六九六三番○郵便爲替拂渡局は必ず東京小石川小日し○代金拂込は振替貯金を望む○本會振替貯金口座番號前金のほか一切送本せず○前金切の時は包紙に注意すべ

? 合せは必ず往復ハガキ ? 記されたし○注文の際は第何號よりと明記されたし、 会の受取證を要するものは返信料を送れ○住所姓名

廣告料 頁金五圓〇牛頁金三圓〇メ切 前月十 H

明明明 治治治四四三 ++ 五 71 年 年 = 六 月 月 = -++ 八日 八日 B 即 內務省許可 ジ 刷 納 行本

一般行 京 小石川 區 關口

錫

輯

兼

東京市华込區市谷加賀町 一丁目 駒井町三番地 十二番地 春 子

會社秀英舍第一工東京市中込區市谷加賀町一丁目十二番地 會條 柳 塲 郎

區關口駒井町三番地 鳥

堂

田丁

京 神